

新生児医療連絡会 2024年第2回役員会 議事録

日 時：2024年7月14日(日)8:00～9:00

会 場：大阪国際会議場 8F 会議室 804

(議題中すべて敬称略)

- ・役員23名、前執行部2名、顧問1名が出席し開催された。

I. 報告事項

1. 会員状況 (2024年7月14日現在) (杉浦 弘)

1) 会員数 **473名** (前回役員会以降の入会申請 3名、退会者 2名)

2) NICU代表 **245施設**

- ・上記の内容を確認した。

2. News Letter 寄稿 (杉浦 弘)

働き方改革に向けたNICU内での看護師による特定行為をテーマにした寄稿Letterを会員専用サイトに掲載した。

「当院NICUにおける特定行為修了者の活動について」

井出 康介 様

(滋賀医科大学医学部附属病院NICU 特定看護師×臨床工学技士)

- ・上記の内容を確認した。

3. 会員勉強会の開催 (杉浦 弘)

「新生児領域における令和6年度診療報酬改定」をテーマに祝原賢幸先生(大阪母子医療センター新生児科)を講師に迎え会員向け勉強会を実施した。

当日の講義スライドと質疑応答のまとめを会員専用サイトに掲載した。内容の一部または全てを無断で転用することは固くお断りいたします。

- ・当日は96名の参加があったことが報告された。

4. 今後の予定 (杉浦 弘)

1) 第68回日本新生児成育医学会学術集会 **1日目**

・2024年第3回役員会 **11月8日(金)昼食時** 松本

・2024年第2回総会 **11月8日(金)夜** 松本

- ・上記の内容を確認した。

II. 協議事項

1. 新入会 (2024/4/21~2024/7/13) (杉浦 弘)

24/05/13 渡部 功之 (獨協医科大学 小児科)

24/06/11 片岡 大 (公立豊岡病院 小児科)

24/06/17 川谷 圭司 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科)

- ・上記の入会を承認した。

2. NICU マニュアル第6版の制作 (徳久琢也・細野茂春)

1) 編集責任者: 細野茂春先生・徳久琢也先生・中西秀彦先生

2) 共同編集者: 4~5名を選出し作業を分担

3) 方針:

- ・第6版はNICUの診療に即した最低限新規項目の追加が主で、大改訂は第7版で。
- ・新規追加項目は以下のとおり。

「母体ステロイド投与、無痛分娩、母体精神疾患(精神疾患患者からの出生児)、出生時・乳児期の外性器異常、性分化疾患:出生時の対応、EtCO₂、脳機能モニタ(aEEG)、声門上気道デバイス、胎盤血輸血、低侵襲サーファクタント投与(INSURE/LISA)、医療ケア児への支援制度と課題」

4) 今後の予定: 2025年4~7月を目途に発行を予定

- ・上記の進捗を確認した。

3. News Letterの発行形態 (荒堀仁美)

現在は紙の冊子を発行し毎年2月に年会費請求とあわせて会員に頒布しているが、冊子体の発行とあわせてPDF版の会員専用サイトへの掲載案について審議を行う。

- ・直近5年間のNews Letterについては、PDF版を会員専用サイトに掲載することが承認された。その際、了承の得られていない著者への確認を行うこととした。
- ・今後の執筆者には、会員専用サイトへの掲載の承諾もあわせて取得する。
- ・5年以上前のNews Letterについては、目次を会員専用サイトに公開する。

4. R6年度診療報酬改定について (杉浦 弘)

- ・診療報酬の件については、小児科学会新生児委員会が中心となって進めることが、小児科学会の理事会で議論された。連絡会としては協力していく方針である。
- ・働き方改革については、周産期・新生児医学会が中心となって進めていくことになっている。同様に連絡会としては協力体制を取る。

5. 連絡事項

1) 仁志田博司賞について (和田雅樹)

- ・新生児成育医学会において行われている仁志田博司賞の創設について報告された。赤ちゃんに温かい活動をした方がいれば表彰・支援して周知していくことを目的としている。医師に限らず看護師も、団体も含めて対象となる。副賞10万円。締切は8月31日であり、是非推薦・紹介していただきたい。

2) 関連学会との合同シンポジウムの開催について (杉浦 弘)

- ・2024年11月に松本で開催される第68回日本新生児成育医学会・学術集会で、連絡会が関連する以下2つのシンポジウムが予定されていることが報告された。

「患者・家族中心の新生児医療へのイノベーション

～特定行為研修修了者を活用したタスクシフト/シェア～

(日本新生児看護学会×新生児医療連絡会)

「能登半島地震でできたこと、できなかったこと、やりたかったこと」

(日本新生児成育医学会災害対策委員会×新生児医療連絡会)

3) 若手の入会メリットについて

- ・若手に対する連絡会の入会メリットについて質問があがった。News Letterや勉強会、行政の講演を受講するなど学会では得られない(学術に限らない)情報が得られる点が挙げられた。学会では代議員にならないと総会には出席できないが、連絡会では会員になれば、個人の意見を総会の場で議論できる環境がある。

4) 前執行部からのご挨拶

- ・大木先生、福原先生から、本日をもって前執行部としての役員会出席を卒業されるのご報告がありました。併走していただきありがとうございました。

Ⅲ. 総会講演

日 時：7月14日(日)18:35～19:15 (総会は18:15～19:15)

場 所：グランキューブ大阪 10階 1009会議室 (第8会場)

講 演：「児童発達支援センターからNICUへのFeed back

～発達支援と多職種ケアへの提言～

講 師：橋本 武夫 先生 (若楠児童発達支援センター)

- ・上記の講演について紹介された。